

令和4年度 第1回三重県地域医療対策協議会 議事概要

- 1 日時：令和4年8月31日（水）18時00分～20時40分 オンライン開催
- 2 出席委員等：伊藤会長ほか委員22名、成田オブザーバー
- 3 議事

議題

【 医師派遣検討部会 協議事項 】

- 1 三重大学医学部地域枠制度に係る運用等の見直しについて
 - (1) 協議事項
 - ① 三重大学学生募集要項における地域枠入学者の卒後の従事要件について 【資料1】
 - ② 麻酔科を専攻する地域枠医師における卒後の従事要件の運用について 【資料2】
 - (2) 報告事項
地域枠B入学者における卒後の従事要件の運用等について 【資料3】

<事務局説明>

1 (1) 協議事項

- ① 三重大学学生募集要項における地域枠入学者の卒後の従事要件について（資料1）
- ② 麻酔科を専攻する地域枠医師における卒後の従事要件の運用について（資料2）

<委員の意見>

- 地域枠は、入試制度が一般枠と違い、目的を持って入学するため、どのような従事要件なのかについて、あらかじめ明示しておいたほうがよいと思われる。

<協議結果>

本案について、原案どおり承認された。

<事務局説明>

1 (2) 報告事項

地域枠B入学者における卒後の従事要件の運用等について（資料3）

<委員の意見>

- 地域枠B制度の導入の背景として、医局制度のもとで医師派遣を行っていたものが、それが立ち行かなくなり、県主導あるいは地域の病院主導で医師確保ができる方策として地域枠B制度を導入している。その点をもう一度振り返る必要がある。現状では地域枠Bの働き方について、医局の考え方をまず優先しているが、それをやっている、以前の医師派遣と同じことを繰り返しかねない懸念がある。地域枠Bは全体の7分の1に過ぎないし、地域貢献も2年という期間限定であるため、地域枠Bの2年間の働き方については、三重県地域医療支援センターと推薦病院の先生方の協議によって、働く時期や期間を決めていただくという方針を確認しておいた方がよいと考える。
- まずは、地域枠Bの目的を達成するということが先決であると思う。地域枠Bは入試制度から違うため、そこをしっかりと受け止めていただき、地域医療支援センターと大学教授にも理解をいただいて、地域枠Bの人たちが、しっかりと社会貢献ができる姿を作っていただきたい。常勤として2年の地域貢献は譲れないところである。
- 今回の提案の中で、専攻科を絞ればどうかという案も出ている。総合診療科、一般内科、一般外科に絞ればどうかという意見も出ている。東紀州は高齢者が非常に多く、

転倒すると骨折して整形外科のお世話になる患者さんも多い。このため、専攻科を指定するのであれば、整形外科を入れるのが地域貢献になるかと思われる。

- 「常勤勤務が困難な場合」というのは、専門医を取得するまでの話ではないかと思っている。それ以降であれば、小児科を1人でやろうが、産婦人科を2人でやろうが、勤務出来るのではないかと。
- 地域枠Bは、推薦地域に行くべき立場ではないかと思う。行けない理由として、家があると子供の子供の教育等の問題があるかと思うが、単身赴任で2年くらいであれば十分仕事はできる。

<協議結果>

意見をふまえ、引き続き協議を行っていく。

議題

【 医師専門研修部会 協議事項 】

2 専門研修に係る国への意見提出について【資料4】

<事務局説明>

専門研修に係る国への意見提出について（資料4）

<委員の意見>

- 意見を出していただくことはよろしいかと思う。それと、資料2の地域枠医師の問題であるが、医師不足の勤務を果たしていない方が12名おり、県外に4名出ているが、ぜひ県からも、三重県に帰って研修を始めるよう一筆書いていただけると有難い。

<協議結果>

本案について、原案どおり承認された。

議題3 三重大学医学部地域枠における診療科指定の検討について【資料5】

<事務局説明>

三重大学医学部地域枠における診療科指定の検討について（資料5）

<委員の意見>

- 形成外科は、県内に専門研修プログラムが無いため、希望者が県外に流出している状況であり、救急科、麻酔科と同じように考える訳にはいかない。形成外科教授も着任して4、5年経過しており、プログラムが出来てもよい頃である。三重県でも形成外科プログラムを作ることが、三重大学に講座を設置した目的のひとつでもあるので、三重大学病院長、医学部長においてもサポートしていただきたい。
- 既に、地域枠の中でも形成外科を専攻する医師がおり、県内にプログラムが無いため、愛知県や東京都に研修に出ている。そういう医師を県内勤務者としてカウントできるのであれば、統計の状況は随分と変わるであろう。
- 診療科指定にあたっては、将来（10年後以降）の状況を見据える必要がある。その点もふまえて検討いただきたい。
- さまざまな市町長が、医療に関する問題を深刻にとらえている。早急に進め、強制力を持った仕組みにしていただきたい。

<協議結果>

本案について、原案どおり検討を行っていくことについて承認された。

以上